

## 令和2年度9月（第6回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和2年9月28日（月）午後1時30分から午後2時40分  
場 所 雲仙市千々石庁舎3階 大会議室  
出席者 ・下田和章教育長 ・前田眞一教育長職務代理者  
・中村妙子委員 ・森下祐樹委員 ・仁禮智加子委員  
・事務局 （富永教育次長、小松参事監兼総務課長、草野学校教育課長  
堀田生涯学習課長、加藤スポーツ振興課長  
総務課森田参事補（書記））  
欠席者 ・なし

### 会議日程

#### 第1 前回会議録の件

#### 第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

#### 第3 付議事項

- 報告第10号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）  
報告第11号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）  
報告第12号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）  
報告第13号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）

#### 第4 その他

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和2年度9月（第6回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和2年度第5回定例会会議録署名委員に前田委員及び中村委員を指名する。

事務局

- ・会議録を読み上げ提案する。

教育長

- ・意見、質問がないことから第5回定例会会議録の承認を宣言する。

## 日程第2 報告事項

### (1) 教育長報告

教育長が資料により、月例報告について説明・報告する。

教育次長が第3回市議会定例会の概要について説明・報告する。

委員

- ・台風10号の避難所について、ふるさと会館がすぐ満員になって、吾妻中学校を追加で開設したようだが、ふるさと会館は、エアコンが付いていて、トイレが施設内にあることが1番大きいと思った。川床小学校は、体育館の外にトイレがあって、台風とか雨風がひどい時、体の不自由な方がトイレに行くのは大変だったのではないかと気になった。今回、体育施設の統合整理の話が議会に出されたが、いつ頃の話か分からないが、吾妻地区で言えば、吾妻中学校の体育館を無くして、町民体育館を大きくした感じにして小中学校もそこを使ったりするとなると、避難所の収容人数の確保まで考えて、その整理が進められているのか疑問に思った。

事務局

- ・今後、学校の近くにある市の体育館、例えば、国見体育館と国見中学校体育館を一つにして、今までの国見中学校体育館より若干大きめな体育館を作って、避難の受け入れも可能なような形でやっていけば、施設の統廃合もうまく進んで、住民の方も避難所として活用できる施設になって行くのではないかと思うが、それをやっていくにはしばらく時間がかかると思う。

教育長

- ・市はたくさんの施設を持っているが、老朽化が進んでいるので、いかに施設の数を減らしながら、防災という視点も含め市民のためのより良い環境を作るか、というのが一つの課題になる。5年10年先を見た上で計画を立てて行かないといけない。

## 委員

- ・議案質疑の中で、学校給食の未納のことを触れてあるが、その中で、戸別訪問により徴収とか封筒を配るとか書いてある。自分が小さい時、未納の方にはみんなの目の前で封筒を配ったりして、その子達は心が傷ついていたんじゃないかと思う。また戸別訪問で、私の近くの小学校で、未納があった際、その時に育友会長と副会長が徴収しに行ったという話を聞いた。それが役員さんの仕事なのか、ちょっと疑問に思った。児童手当などで、給食費未納の分は差し引けないのか。

## 事務局

- ・給食費未納については大変難しい問題である。今回議案質疑で答えている未納額 1,200 万円は、平成の 1 けた台から引き続いている額で、合併時 1,500 万あったものを 1,200 万まで減らしてきているが、これを回収するために旧町時代からいろんな方法が行われて来た。PTA 会長が行かれた町もあったし、学校の先生、校長先生等が行かれた町もあった。現在は、先生や P T A の仕事ではないことから、学校給食センターの職員や学校教育課が各家庭を訪問しているが、未納が続いていくとなると、学校給食運営審議会の中で話し合っ、P T A とか保護者でも回収しようという動きになる可能性はある。また、学校での袋による渡し方については、学校も十分気を使っていて、納入袋をそのまま渡すのではなく、古封筒などに入れて、個別に職員室に下校時に立寄ってもらい、ほかの子に判らない形で渡すよう指導している。児童手当については、本人の同意が無いと勝手に差し引けないので、児童手当が支給される時期に向け、集中して訪問する工夫をしている。

## 教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

## (2) 各課の事業等の取組状況及び計画

### 事務局

- ・資料により各課別に説明する。

### 委員

- ・コロナの影響で、温泉やプールの利用率は、どれぐらい落ちたのか。

### 事務局

- ・手元にデータを持ってないが、利用者が 2 割～3 割程度下がっている所がある。遊学の館の風呂、瑞穂すこやかランドのプール、リフレッシュセンターおばまについても利用者は下がっている。そのような中、市ではガイドライン作成と併せて講習会を開いた。市体育協会でも同様に講習会を開くよう準備している。今後季節性インフルエンザもでてくるので、二つ合わせて対策できるよう、講習会を行うこととしたい。

委員

- ・県民体育大会の開催競技で陸上競技の他、判っていれば教えて欲しい。

事務局

- ・陸上競技のほかに、ソフトテニス、ソフトボール、軟式野球、相撲、ゲートボール、サッカー、テニスが開催の方向で進めている。

教育長

- ・全て外であるものということか。

事務局

- ・すべて屋外種目であるが、再検討される可能性もある。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

### (3) 各課からの報告

- 1、学校教育課より、修学旅行について説明する。

委員

- ・修学旅行の件について前回は質問したが、非常に難しい判断をしないといけないというのもよくわかるが、子供たちの最悪の状況を考えて、まずは安全対策が第一と思うので、もう少し教育委員会の方で、行先について指導できないか。保護者や学校の思いを大切に動いているのはよくわかるが、他市の状況をみても、行政側から強く指導をされないこと、愛野中のようにちょっと判断に困るとか、判断の時期をずらさないといけないなど、混乱を招くことになるのではないかと。(キャンセル料の) 予算は、各市に比べ手厚い対応をしてあるが、ある程度方向性を教育委員会の方で出せないものか。予算措置も当日キャンセルの対応を含めて、考えてあるが、最終判断が1週間前だったら30%のキャンセル料で対応でき、500万ぐらいのお金が浮くので、コロナ対応で逼迫した市の財政の中、予算を有効に使えるのではないかと思う。

事務局

- ・行き先等については、危険な所に行かないという判断をするよう指導をしてきた。修学旅行についてコロナ対策を徹底した上で、学びを止めないということから『できるだけ安易な中止をしないように』という国からの指導もあった。教育委員会が県内しかダメだとか、全て中止とする判断を求めている校長先生の声も聞いている。ただ、あくまでも学校の計画については校長が責任を持つというのがあり、そこを教育委員会に頼ってくるのは良くないと思われること、また、カリキュラム面で修学旅行は修学旅行単体で行われるのではなく、その前の段階からすでに学習として入っているところがあり、その一環で行うので、例えば、大きく場所を変えるとかあるいは中止することで、この活動全体がうまくいかなくなる。そのような事があるので、その教育課程を作る責任者は

校長であり、この計画について、教育委員会は指導をするが最終的には校長の決定権によることを話してきた。中止の決定は、もう危ないと思えば直ぐにでも校長が決定すると思う。それが1週間前なのか、2週間前なのか3週間前なのか、このあたりも状況により変わってくると思う。それで、大丈夫だ、修学旅行は行うという前提で進めていても、当日、自分の学校でコロナの感染者が出た、あるいは行こうとしていたそのホテルで出たとなると、その時の万一のために予算化をお願いした。大丈夫な所を選んで大丈夫な日程で大丈夫な所に行くというところで計画をしてるので、問題ないと思われるが、先の事は分からないので保険としての形で予算をお願いしたつもりである。

#### 委員

- ・それは十分判っていて、修学旅行を中止にしないとか、そういうことは頭がない。ただ、その方向性とか、ある程度の枠とか、そういう大まかな指導、範囲は示せるのではないか。校長先生の裁量で学校の運営がなされるのは良く判るし、その辺はもちろん踏まえた上で、もう少しコロナ下で何が起こるか判らないので、子供たちの命が1番優先であることを踏まえた上で、方向性が示せないのかと思う。この資料を見たときに、九州管内や比較的近い所が変わっているが、佐々中は鹿児島に変更し計画されたが、豪雨災害で対応ができなくなり中止したと聞いた。本当に何が起こるか判らないので、そういうことを踏まえて、今後、より大きな判断をする機会ではないか。そういった大きな判断を教育委員会で示して方向性を示してもらえたらと思う。防災や緊急事態など、このような時期だからこそ学べる修学旅行というものもあると思う。そういうものに学校全体で取り組んで行く。そういう学習もすばらしいのではないかと感じている。

#### 教育長

- ・委員の意見は、本当に大切な事だと思う。今まで教育委員会が全学校共通してやってきたことで、例えば、臨時休業のスタート日は本市独自でやってきたことや、部活動のあり方で市内での発生が続いた時には部活動を中止するという事は強く指導して来たが、学校行事については、私も何とかさせてやりたいという気持ちがある。そのような中でどういう安全策をとって行くのかということで、まず学校が日程を変える、行き先を変えることを判断してきたと思う。特に、この事については小学校中学校のそれぞれの校長会の中でも話をしてもらっている。教育委員会としては、校長が判断をしたことをどうやって支えてやるかという面で、キャンセル料について予算の裏付けをして、少し校長を安心させるというところが必要と考えた。今後の行き先については、感染が爆発的に増えるというような状況があれば、また教育委員会のほうから指導しなければならぬというのは念頭に置きたいと思う。

#### 委員

- ・わかる範囲でいいが、修学旅行を手配する業者はどのような所か？

#### 事務局

- ・すべて把握してるわけではないが、島鉄観光さんが多かったようだ。一部、雲仙観光、大手業者（日本旅行やJTBなど）は今回無かったようだ。

#### 委員

- ・何年か前までは、大手の旅行業者が入って来てたようだが、生徒数が少なくなって利益が上がらないと言う事で、案内もなく、最近は近くの業者ばかりになって、これがキャンセルとなった時に、迷惑というか、小さい会社は結構きついのかなと思った。それから、愛野中の関西方面に行かせてやりたいと言う保護者の意見は、多いのか。

#### 事務局

- ・数は、把握していない。校長から担当が聞いた状況では、学校は関西方面から変えたいと思っているようだが、保護者会を開いても理解を得られないと言う話だった。

#### 委員

- ・修学旅行だけでなく、体育大会なども保護者の意見がなかなか学校と折り合いがつかないという話を聞いたが、何か聞いているか。

#### 事務局

- ・正確には把握していない。

#### 教育長

- ・校長も、地域や保護者の意見を大切にしているが、もし保護者の意見を通して関西ということになれば、そこについては、教育委員会がストップをかけるべきだろうという考えは持っている。

### 2、生涯学習課より成人式について説明する。

#### 教育長

- ・先日、総合教育会議の中でお示しをした案から少し変わってきたが、できれば令和 3 年の成人式はこの案で実施をしていきたい。ただ、年末あたりに、また感染が拡大したり、または市内の感染が広がったということがあれば、中止という判断も有りえることを了承願いたい。

### 3、総務課から台風 10 号の被害の状況について説明する。

#### 教育長

- ・意見、質問がないことを確認する。

### 日程第 3 付議事項

- 1、報告第 10 号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）
- 2、報告第 11 号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）

- 3、報告第12号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）
- 4、報告第13号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（動産の買入れについて）

事務局

- ・関連があるため報告資料により4件について一括説明

委員

- ・一つの業者が全部落札した事で、変な疑いをかけてる人がいないのか。

事務局

- ・落札業者は、これまでも雲仙市内の学校のパソコンも、ほとんどが落札している。県内で、取扱高が1番多く実績もある。今回、県内の多くの市町村が参加して、学校のパソコンを一括購入しているが、これもこの業者が落札している。また、南島原市も、この業者が落札している。それだけ取扱量が多いので、かなり競争力があるのではないかと思う。

教育長

- ・資料にあるように、5社応札をされた中で決まっており、何も不正はない。

#### 日程第4 その他

- 1、令和2年10月28日（水）午後1時30分から10月定例会を雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）3階大会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和2年度9月（第6回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。

会議録署名

委員

委員

作成職員